

別紙様式1 運営協議会による会議実施報告書

岐阜県立池田高等学校

学校長 松井 千昭
学校住所 摂斐郡池田町六之井242-1 電話 0585-45-7755

- 1 会議の名称 岐阜県立池田高等学校学校運営協議会 (第1回)
- 2 会議の構成 委員 飯田 静世 主婦（子育てボランティア団体代表）
岡崎 真治 太陽工業（株）常務取締役
小林 月子 社会福祉法人 新生会サンビレッジ国際医療福祉専門学校校長
西川 菊雄 池田町上田区長
野原 恵子 元池田高等学校育友会役員
- 学校側 松井 千昭 校長
楠井 徳之 教頭
小野 信幸 事務長
桐山 竹司 教務主任
稻葉由里子 進路主任代理
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和元年5月30日（木）13:30～15:30
令和元年度 岐阜県立池田高等学校活性化協議会を兼ねて開催した。
- 5 会議の概要

テーマ：「地域と連携し活力ある池田高校にするための取組について」

意見1：魅力ある高校づくりということで、さまざまな取り組みがなされていて素晴らしい。また、ボランティアに積極的に参加も多く、小中学生に比べてやはり大人である高校生の活動ぶりは、ボランティアを主宰する側からも頼もしいし、ありがたい。他にも町の祭りなど他のイベントもぜひ案内したいので協力していただきたい。

意見2：国公立大学や有名企業に就職する生徒だけでなく、成績的にも普通の生徒を大切にしてほしい。より良い勤労観の醸成を通して、地域に役立つ人材になるようにお願いしたい。地域の高校や専門学校が地域にとって大切な存在になっていくと感じている。福祉の町池田を推し進めていくため人材育成にいろいろな面で協力させていただくつもりである。

意見3：授業を通して池田高校の生徒の皆さんには、非常に仲が良いと感じた。また、先生と生徒の関係も良い関係が垣間見られ、ほほえましい。より一層、授業や行事を通して生徒が、地域に役立ち、また、自分に自信をもって社会に貢献できることができると学べる学校を目指していってほしい。生徒の皆さんのが、ボランティアや研修などいろいろな人と出会い、こんな人になりたいという思いや憧れを抱いて、将来の職業に結びついていくといいと思う。積極的にいろいろな体験に参加し活動するようになり、全員が課外活動も含めそういった体験ができればいい。

6 会議のまとめ

授業を参観していただき、授業の新しい取り組みや生徒の様子等から、学校がより望ましい方向になるよう学校全体で取り組んでいることを理解いただいた。地域にとって、大切な学校であることがより明確になり、より一層充実した取り組みを行うことを期待されていることが学校側としても強く意識させられた会議であった。